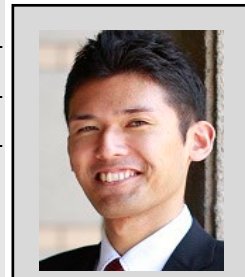


## 子ども教育開発専修 幼児教育学研究室のご紹介 教員：岡花 祈一郎

### 教員についての基本情報

教員名	岡花 祈一郎 准教授 (OKAHANA Kiichiro)
担当分野 (免許状等)	幼児教育 (幼稚園教諭免許状・保育士資格)
研究分野	幼児教育学, 保育学, 子ども学
担当授業	教育原理, 幼稚園教育課程の編成方法, 幼児の教育方法, 言葉, 保育学基礎研究, 乳幼児教育学, 体験子どもの世界・学びの世界, 子ども教育開発演習ⅠⅡ, 卒業研究ⅠⅡ, 子ども学特論ⅠⅡ
授業についての一言	子ども理解を重視しています。実践事例(動画など)をもとに, 子ども理解を深め, 多様な保育支援を構想する力を養います。実際に地域の幼稚園, 保育園等に出向き, 子どもの遊びを観察し, 子どもから学ぶ姿勢を大切にしています。



### 研究の内容

研究室では乳幼児の発達と教育について研究しています。ヴィゴツキーの理論研究と保育カリキュラム研究が専門です。研究手法としては、保育所、幼稚園、認定こども園での参与観察やインタビューなど質的研究方法を基本としています。沖縄県内の自治体から要請を受け、保幼小連携・接続の取組みを支援し、アプローチカリキュラム、スタートカリキュラムなど、子どもを中心とした接続期の研究も行っています。

### これまでに研究室で取り組まれた卒業研究の内容

以下は卒業研究の一例です。近年では、「子どもの声」を聴き、大人や教師の価値観を相対化するのが共通する研究スタイルです。

- ・午睡を子どもはどのように捉えているのか
- ・小学校高学年の宿題への取り組み方に関する研究
- ・特別なニーズをもつ子どもへの支援を他の子どもたちはどう捉えているのか
- ・幼児の音楽体験における意味生成 など



研究室メンバーも参加した公開保育

### 研究のキーワード

遊び, ヴィゴツキー, 文化-歴史的理論, 保幼小の接続, 接続期カリキュラム (アプローチカリキュラム・スタートカリキュラム), 外国につながる乳幼児, 家庭支援, 学童保育, 子ども食堂, ナラティブ・アセスメント, 保育者の省察, 国際バカロレア (PYP) など。

### 研究室の様子

研究室のモットーは「遊ぶときは本気で遊び, 学ぶときは一生懸命に学ぶ」です。本専修では学部3年次から研究室に配属されます。また, 大学院地域共創研究科で子ども学を担当しています。卒業後の進路は, 小学校教諭, 幼稚園教諭, 保育士などです。所属する学生は, 子どもと遊ぶのが好きな方が多く, フットワークが軽い方が多いと思います。研究室で研修会や講演会などを主催することが多いので, 県内外の教員や学生と出会う機会も多いのも特徴です。

教育学部は保育士養成課程ではありませんが, 在学中に国家試験を受験し保育士資格を取得して卒業する先輩が大勢います。